

田辺三菱製薬株式会社 小野田新研究棟プロジェクト

プロジェクトの基本情報	プロジェクト名称	田辺三菱製薬株式会社 小野田新研究棟プロジェクト
	所在地	山口県山陽小野田市
	完了時期	2021年6月
	種別1	■新築・□改修・□その他(具体的に記載)
CM業務委託者に関する情報	種別2	□住宅建築・■非住宅建築・□土木・□その他(具体的に記載)
	CM業務委託者名	田辺三菱製薬株式会社
応募者に関する情報	種別	□公共法人・■民間法人・□その他(具体的に記載)
	CM業務委託者の所在地	大阪府大阪市
	応募者(法人)名	日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社
CMRの参画時期	種別	CM専門会社
	応募者(法人)の所在地	東京都文京区後楽1-4-27 日建設計後楽園ビル
CMRの選定方法	業務契約期間	2019年1月～2021年6月
	CMRの参画時期	■事業構想段階、■基本計画段階、■基本設計段階、■実施設計段階、■工事発注段階、■工事段階、■完成後
設計と施工の発注形式	プロポーザル	
設計者の選定方法	設計施工一括	
施工者の選定方法	プロポーザル	
	総合評価方式	

■プロジェクト概要

①当該プロジェクトにおける応募者の役割・関わり方

Hearts as One 心を一つに

タイトなスケジュールで最先端研究所を実現するプロジェクトの牽引役

②実施したマネジメントの概要

協働から協創へ、そして燦々と

モチベーションマネジメント+クリエイティブマネジメントで協働を「協創」に

③実施したマネジメントによる成果で特筆すべき事項

新しいトータルマネジメント

最先端スマートウェルネス研究所が企業の機能移転+地域活性化を実現

■CMRの取り組み概要

CMRが求められたこと	稼働開始時期は厳守+最先端研究所を実現させたい — 複数部門の想いをとりまとめる牽引役への期待
-------------	--

- 課題:** ①新研究棟への移転・稼働開始時期の絶対厳守
②最先端スマートウェルネス研究所実現の技術的知見 ③発注者内部の合意形成等
- 提案:** ①全フェーズを通じて関係者間の縦串・横串を通し牽引する「マネジメントハブ体制」
②関係者の総合力で発注者が五感で高品質を目指せる「クリエイティブマネジメント」
- 効果:** CMRを中心とし、発注者から協力会社、地元、行政に及ぶ広域の「OneTeam」が形成。最先端スマートウェルネス研究所の実現を確信できるプロセスが確立。

CMRが目指したこと	モチベーションマネジメントで「協働」環境を構築し、 クリエイティブマネジメントで「協創」を実現
------------	--

- 目標:** 発注者と共に S・I・C・M(Speed/Innovation/Communication/ Motivation)を設定
- 提案:** ①マネジメントハブとして関係者のモチベーションをマネジメントし、「協働」環境を構築
②総合力で品質・スケジュール・コスト等をクリエイティブにマネジメントし、「協創」を実現
- 効果:** 新天地への移転プロジェクトの難しさへの不安を期待に変換できたことで、付加価値の高い研究所が実現できただけでなく、研究者に愛着が生まれる新たな研究の場が実現。

CMRが取った手法①	体験から新しい価値観を創出し、協働を協創へ — モチベーションマネジメント+クリエイティブマネジメントで真のイノベーションを実現
------------	--

- 提案:** ①様々な手法で五感に響くプレゼンを実施(例:色彩の豊かさ、サウンドマスキングなど)
②国内外最先端研究所事例のプレゼン・視察で課題共有し、実現へのマインドを醸成
③発注者内部会議体への参画でハブとなり、製造・研究の両部門の連携を促進
④新たな研究空間の実現に向けてCMR自らが提案し、関係者間をファシリテート
⑤発注者に立地や環境等のポテンシャルをプレゼンし、地元工芸作家作品導入を支援
⑥発注者ヒアリング・アンケートで知的生産性の向上やブランディング向上施策に寄与
- 効果:** 難易度を期待に変換し、協働環境を構築。新たな価値観を創出し、協働を協創に昇華

CMRが取った手法②	最先端スマートウェルネス研究所&働きたくなる職場づくりの STEP-BY-STEPマネジメント
------------	--

- 提案:** ①様々な省エネルギー対策・SDGs貢献メニューの導入を実現
②各部門の実務への適合+視覚的一体感+将来の更新性まで考慮した画期的プラン提案
③知的創造を促進する色彩計画、快適・健康に配慮したワークプレイス等様々な手法を導入
④後戻り無く確実な実現を図るための先行ルーム等で早期チェックプロセスの積極提案
⑤リスクの確認と早期の対策を検討し、円滑なプロジェクト推進を実現
⑥実験什器・家具什器等の別途工事も工事費査定や発注、設置完了までトータル管理
⑦確度の高い予算設定、段階的なコスト概算、コスト低減策の事前検討で予算を遵守
⑧ITを活用した会議や検査を導入し、遠隔でも安全・安心なプロジェクト推進を実現
- 効果:** 最先端スマートウェルネス研究所・働きたくなる職場に向けた協創内容の確実な実現

CMRが受けた評価	歴史を継承し、企業融合の地域ランドマークたる 最先端スマートウェルネス研究所、及び生産・研究事業の活性化を実現
-----------	--

Innovation: あらゆる課題と全関係者を牽引し、協創の中で最先端ラボの実現と研究・製造の融合、地域社会への貢献等の全てを高レベルで達成

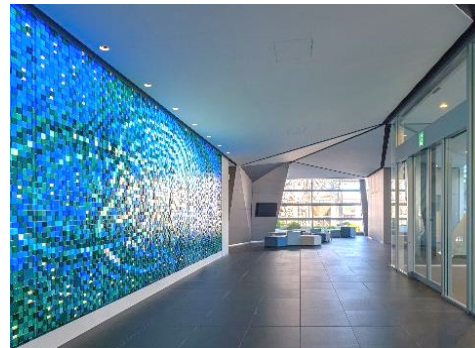
Speed: 効果的なプーニングでスピーディーな研究・開発の一体化とニーズへの対応に貢献

Communication: 国内外の訪問者が多く、地元活性化に貢献。産官学連携のサポート役としてスクラムを組んでおり、地元との各種イベント等も検討中

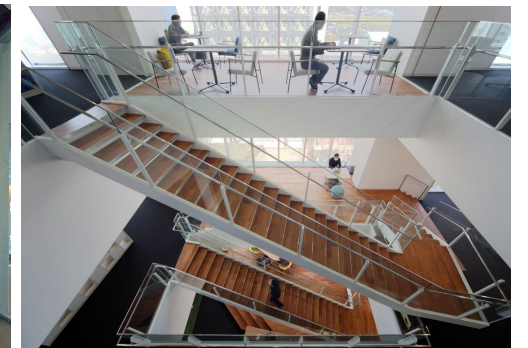
Motivation: 健康や協創に配慮したワークプレイスは、モチベーション高く有機的に運営中



▲新研究棟全景/地域のランドマークとして光り輝く「ダイヤモンド」をイメージした外観



▲ガラスアート/来客も社員も地元のアートを身近に感じる事ができる。波紋は新研究棟のコンセプトを体現したもの。



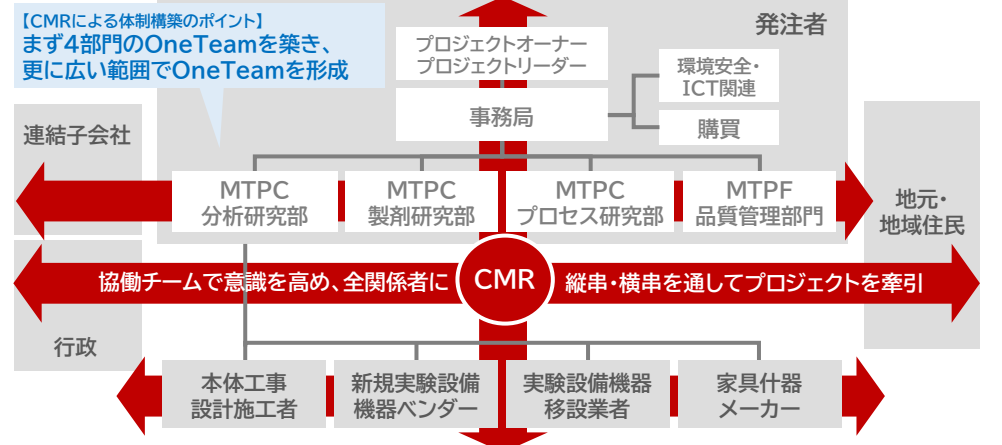
▲吹抜階段に隣接して各階に設けた協創スペース/階を跨いだ各部門間のコミュニケーションが活発に行われている。



▲見通しの良い開放的なワークスペース/写真右側にラボがある。様々なスタイルのスペースを自由に選択できる。



▲展示及び待ち合わせスペース/サイネージ、展示、アートによる情報発信。オープンな空間で来客との待ち合せにも活用。



▲プロジェクト推進体制イメージ/CMRはプロジェクト全関係者・県・市にも縦串・横串を通してプロジェクトを牽引

2019	2020	2021	2022
基本計画	設計施工者選定	基本設計実施設計	施工
			実験什器・家具什器新設・移設
			新研究棟稼働

基本計画から稼働開始に至る「一気通貫型包括マネジメント」を実践

モチベーション向上施策 ①事例視察や競合他社とのディスカッション等を企画・リードし、目指す研究所のイメージを構築 ②移転先の歴史・文化・環境、子育てのしやすさなど、移転先のポテンシャルをプレゼンして共有	モチベーション向上施策 ①発注者とCMRが共に汗をかき課題を乗り越え、一つ一つ成功体験を蓄積 ②チームの検討内容をCGや全体機型などで都度見える化を図り、自分たちの可能性への確かな実感を持たせる	モチベーション向上施策 ①ショールーム等の視察を企画。研究者自らが使用する実験什器や家具什器類を選定する為のサポートを行い、決定するという新しいプロセスを実現 →新しい職場で働くモチベーションが一層向上	効果 ①研究者は新研究棟での再スタートを開始 ②発注者コメント「このプロジェクトに関わったことを誇りに思います」
---	---	---	--

▲プロジェクトスケジュール表/CMRはプロジェクトの各段階で協働によるモチベーション向上への様々な施策を実行

■発注者からの声

発注者代表	新しい取組みの形として社内のモデルプロジェクトにしたい
発注者マネジャー	本当に愛情込めて進めて頂いたことに心から感謝している
研究者リーダー	建築をなめていた。こんなにも可能性にあふれたプロジェクトに関わったことに感謝
研究者	研究と製造の交流や相談が増え、目的としていたシームレスな開発が促進している。発注者内の連携もスムーズ
設計施工者	ダイヤモンド型の新研究棟を、今後も更に輝かせたい
来館者	おもてなし感と爽快感に溢れていて来館が楽しみ
その他	発注者からは今後も引き続き有名公募賞への応募などの共同連携に期待されている